



インカレ初出場を山田市市長もに報告した
三壁監督と選手たち 〓 犬山市役所

「念願のインカレ 全力出す」

名経大女子サッカー部 犬山市長に誓う

名古屋経済大（犬山市）女子サッカー部が「全日本大学女子サッカー選手権大会（インカレ）」への初出場を決め、二十六日に兵庫県で初戦を迎える。選手五人と三壁雄介監督が二十三日、市役所に山田拓郎市長を訪ね「念願のインカレ出場。全力を出し切りたい」と健闘を誓った。

二〇一五年の創部当初は部員四人だったが、現在は二十六人。今年四月に大敗したことをきっかけに、ボール奪取力を強化。六チーム総当たりによるインカレ東海予選では、昨年全国準優勝のチームにPK戦で敗れたものの、他の四チームに勝利して初優勝した。

三壁監督によると、全員が二つ以上のポジションを

できるよう教えているといい、プレートの幅の広さが持ち味。主将の四年東原優帆さん（二）は「よつやくつかんだ全国の舞台。楽しみながら明るくプレーし、まずは初戦突破を目指したい」と語った。

兵庫県三木市で二十四日に開幕予定。名経大は二回戦からの登場で、明治国際医療大（京都府）と八戸学院大（青森県）の勝者と当たる。

（水越直哉）